


【件名】	白鷺橋下部工事その4(28五ー環3支2白鷺橋)	【事務所名】	第五建設事務所	
【工事場所】	東京都江東区枝川二丁目地内から同区枝川一丁目地内まで	【受注者名】	松鶴建設株式会社 東京支社	
【工期】	平成28年8月24日から平成30年3月23日まで	【主たる技術者名】	小野 浩治	

【工事概要】

逆T式橋台	541㎡
鋼管杭打設	30本
土工	一式
土留仮締切工	一式
環境調査	一式

【表彰理由】（※発注者側評価）

現場着手前には支持層確認のため、ボーリング調査をするなど必要な準備に努めた。また、周辺住民に対する騒音、振動等の配慮として栈橋上及び栈橋下に吸音効果のある仮囲いや防音シートを設置するなどして苦情ゼロで工事を終えた。

さらに、工事内容や工程について、近隣住民にきめ細やかな説明を行うとともに、地域活動にも積極的に参加し、工期末には地元住民より感謝状を授与された。また、熱中症対策として、冷感スーツやミスト噴射装置などの設備を充実させ、安全衛生管理の向上に努めた。完了検査時は十分な説明がなされ、質問にも適切に対応していた。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

仮締切・既製杭・床掘の施工時に出現した土中の支障物を効率良く撤去・分別する方法を検討し実施した事。

◇ 特に工夫した点

仮締切・既製杭設置の際に発生した支障物を効率良く撤去する為、現場で使用中の機械設備を極力活用できる方法を検討しロックオーガー工法を採用した。また、仮締切内の掘削中に土中より発生した自然石・廃棄物を除去・分別する為に大型スクリーンを設置し作業効率を向上させた。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

近隣住民とコミュニケーションを取り、誠意を持って対応した事で、工事への理解と信頼を得る事ができた。工事完了時に感謝状と「今後の工事松鶴建設さんやって下さい」と言われた時に充実感と達成感を感じた。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

「週休2日制確保モデル」が発注者主導で進められるなど建設業界の就業環境や条件も見直されており、以前の3K職場とは違ってきている事を知ってもらいたい。



床掘土砂分別状況